

新宮山彦ぐるーぷ第2111回

行仙宿の巡回整備

◇実施日… 2021年1月13日(水)晴

◇参加者… 沖崎吉信、梶野照雄 2名

昨年、一昨年とは違って、今冬は去年の暮れから強い冬型の気圧配置が続き、大晦日には新宮でも雪が降って千穂ヶ峰が十数年ぶりに雪を被っていた。日頃雪と縁がない当地在住者としては、少々ワクワクする時期でもある。

年が明けたし雪も踏みたいし、と思っていた矢先、梶野君から山川さんと二人で行仙宿へ行くとのメールが届く。特別な用事があるわけではないようだが早速同行の連絡をする。



積雪の登山口



第二ベンチで



行仙宿に到着

11と12日にかけてかなり雪が降ったようだ。当日下北山村役場で合流、山川さんは急な所用で欠席、二人、2台で役場を出発、予想通りR425の俱利伽羅橋を渡ると路面に10cm位の積雪がある。久々の白銀の世界にワクワク、ドキドキだ。

スリップに注意しながらゆっくりと走行して登山口に無事到着、モノレールで登りだす。

いよいよ雪踏みだ。モノレール終点から第2ベンチ迄と鉄塔横のトラス地点の積雪が深く、20と25cm位あった。

北陸や北日本では豪雪で大変ご苦労されているので、はしゃぐのは不謹慎だが、積雪の中にとると童心に帰った気分がする。



ソーラーパネルの除雪



水場手前の倒木

小屋に着いて、私は小屋と管理棟の整理整頓、不用品をまとめて荷下げ、正月のしめ縄や飾り物の撤去を行う。梶野君はやまびこ会

から寄贈いただいたAEDを壁に取り付けるため、用意したアルミケースの採寸などの加工準備、屋根上のソーラーパネルに積もった雪の除雪、水場の確認を昼食の前後に行った。



結氷した水場



水場への降り口



本日の参加者

補給路は積雪があるが倒木や崩れなどの異常は皆無、水場は水溜りが結氷していたが水流は少し回復していた。水場の少し手前で馬酔木が倒れこんでいたが次回に切除予定。

お堂前で写真を撮り午後2時40分、小屋を後にした。

水曜日でもあるので、来宿者はいなかった。登山口に戻り四ノ川林道の1.6km先、浦向道取り付き箇所迄往復したが、ここも積雪以外の異常は無かった。

帰路、山川さん宅に寄り、牛草山山行の打ち合わせを行い自宅に戻った。(久々の雪上歩行で楽しかった)



浦向道合流地点



積雪は3cmほど



階段方向

行動タイム

09:30 役場駐車→10:07 登山口 10:20→11:04 行仙宿 14:40
↓15:17 登山口→15:27 浦向道合流地点→15:36 登山口

(記: 沖崎、写真: 梶野)